



フレンドシップあさひ

《 2008.12.1 発行 》

“昨日よりも、いい明日”を願って…

今年の5月にこの「フレンドシップあさひ」はスタートしました。なんとか地域の方々のお役に立ちたいとスタッフ一同必死で仕えてきました。私たちの目指すところを地域の方々に少しずつ理解して頂き利用者数も順調に増えてきています(※下記の表を参照ください)。まだバタバタしていますが、当初から予定していたフレンドシップあさひ通信の発行と賛助会員の募集を行うこととなります。是非、この働きにご賛同くださる方々は賛助会員になってご支援ください。

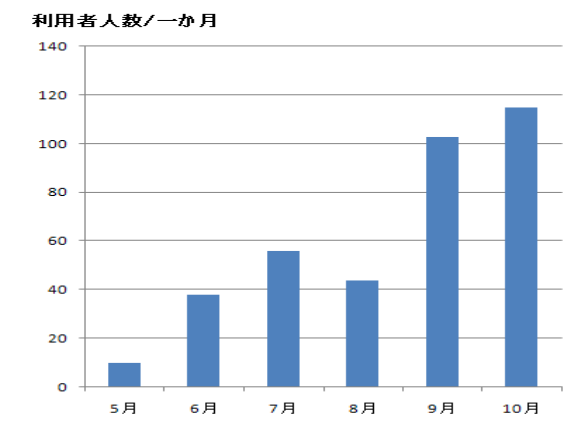
この場所でデイサービスを始めて、約6ヶ月が経過しましたが、この短い期間でも本当に多くの出来事を経験してきました。地域のケアマネージャーさんから依頼を受けて、利用者の体験利用を経てサービス契約を行っていきます。ご本人やご家族から本当に喜んでもらう出来事とともに、中には大変な苦勞と痛みの故でしょうか、なかなかデイサービスに慣れることができません。うまくサービスを提供できない方もおられます。ご本人と家族の苦勞を思うとなんとか、良いサービスを行い本人が心安らかに一日を過ごせるようにと

願うのですが、正直なところ限界を突きつけられるようなことも多くあります。一生懸命取り組んだのに結果が、まったくついてこない。しかしそのことが伝えることは、人間というのは機械ではない、お金を入れれば見返りとしてジュースが出てくる販売機ではないことを。どんなに良いものを注ぎ込んでも、本人の困窮がそれを超えている限り、無理なのです。諦めたくないのに諦めさせられる出来事を実感します。

この一つ一つのことは、私やスタッフに挫折感とともにチャレンジを与えます。聖書に「わたしはあなたを練った。しかし銀のようにではなくて、苦しみの炉をもってあなたを試みた。」とあるように、それが上から私たちに与えられた良い訓練と受け止めて、希望をもって前進したいと願っています。「全力をもって最善を尽くす。」こと！

昨日より今日が、少しだけいい日だった。また、明日も生きていこう、と思えるような、人生を支えるサービスを展開したいと願っています。(所長 鈴木淳)

フレンドシップあさひ利用者状況の推移



《最近の利用状況》11月10日～15日

利用日	利用者数	利用日	利用者数
月曜日	6名	木曜日	定休日
火曜日	8名	金曜日	10名
水曜日	6名	土曜日	6名

《 献金・支援者 》

フレンドシップあさひの開設にあたり多くの方に支援を頂いています。ここにあげられるお名前はすべてではありませんが、感謝として記載させていただきます。(敬称略)

【団体】 ホッとスペース中原、希望が丘教会、高座教会、渋沢教会、田園教会、市川グレース教会、国立のぞみ教会、さがみ野教会、めぐみ教会、東小金井教会、成瀬教会、海老名シオンの丘教会、泉教会、白根福音教会、香港中会ユースグループ、CPC 総会より支援金、開所式席上献金、高座バザー献金

※個人氏名はウェブ上では消しています。

【個人】

※個人氏名はウェブ上では消しています。

★これまでお手伝いに来てくださった方

お忙しいところありがとうございます。

- 管理責任者：鈴木淳
- 介護スタッフ
- ※個人氏名はウェブ上では消しています。
- 食事スタッフ：山崎修子、鈴木わかな

発行責任者：鈴木淳 編集責任者：山崎照雄
 通所介護・介護予防通所介護 デイサービス
フレンドシップあさひ
 (介護保険事業所番号 1473201513)
 ●〒241-0021 横浜市旭区鶴ヶ峰本町1-19-21
 ミヤビビル一階/鶴ヶ峰駅より徒歩 15分ブックオフ裏手(鶴ヶ峰水道道沿い)
 ●電話 045-489-3721 FAX 045-953-2588
 ●Email: friendship_asahi@yahoo.co.jp
 *ホームページは「フレンドシップあさひ」で検索できます。

フレンドシップあさひ・今日までの歩み

- 2007年
- 3月 鈴木所長は、在職していた希望が丘教会を辞任。デイサービス事業開始に向けて本格的に企画準備を始める。
 - 10月 横浜市瀬谷地域での開設を目指していたが、物件交渉が成立せず、断念。
 - 12月 開設場所を横浜市鶴ヶ峰地域に変更して物件を探す。そして、現在のミヤビビル一階の店舗と出会う。
- 2008年
- 1月 ミヤビビルの所有者であるミヤビ工建の磯野社長と賃貸契約を行い、内部の改修工事に着手。
 - 2月 デイサービスの名称を「フレンドシップあさひ」と決定。
 - 3月 神奈川県介護保険指導班に通所介護業者として指定書類を提出。4月1日からの営業許可が下りる。
 - 4月 50名以上の多くの支援者と共に開所式および職員の任命式を行う。介護職員として山本さん、西条さん、茂呂田さん、食事スタッフとして山崎さんと契約をする。
 - 5月 5月1日より業務開始。5月6日に初めての利用者をお迎えする。
 - 9月 新介護職員として細川さんと契約。利用者数が順調に伸び、介護車両を追加購入。一台目を「太郎」、二台目を「次郎」と名付ける。
 - 10月 当初より交渉してきたフロアの拡張が実現。総面積約22坪となる。
 - 12月 看護師として中井さんと契約

第1回目の通信を発行できたことを心から嬉しく思います。このフレンドシップあさひをスタートするにあたって多くの人に助けを頂きましたが、その中でも川崎で福祉事業を展開する「ホッとスペース中原」の佐々木炎先生には多くの指導を頂きました。先生の指導なくして、私たちの事業はスタートできなかったと思います。また更に遡って言えば、私が21歳の時に門を叩いた希望が丘教会の瀬底正義先生ご夫妻との出会いと指導なくして、今はないと言い切れません。今でも正義先生とノリ子先生は、私の命の恩人だと思っています。今は天に凱旋された正義先生に教わったとおり、現在、私に与えられた使命を全力でやり抜く所存です。どうか私が挫けない様に、天より見守って頂ければと願っています。鈴木 淳

フレンドシップあさひの一日

時間	内容
8:40	スタッフ集合
50	送迎スタート
9:45	サービス開始
	お茶と体調チェック
	レクリエーション 入浴（フланがある方のみ）
12:00	昼食
13:00	レクリエーション・機能訓練
15:00	お茶タイム
16:00	帰宅出発（サービス終了） スタッフミーティング
17:30	業務終了



利用者が増えてきましたので、送迎用の介護車両を追加購入しました。資金面では厳しいですがこれも感謝な出来事と受け止めて頑張ります！

「お迎えのときは、家族の方々との数少ない接点。このときのコミュニケーションを大切にしています(^0^)」

お茶やコーヒーなどは、好きなものを召し上がっていただきます！レクも利用者の方の希望に応じた活動を行います。

「利用者の中には、目の不自由な方、耳の不自由な方、様々なハンディキャップをもった方がいらっしゃいます。みんなで楽しめるゲームを考えるのが一苦勞です。どんなかいいアイデアありませんか？」

お食事は利用者の方のデイの大きな楽しみです。毎日手作りで温かい、美味しいお食事を心を込めてお出しします。

「毎日の献立づくりが結構たいへんです。おいしく召し上がってほしいと思えば思うほど、悩んじゃいます。献立の重複や、食事制限など…、お料理するって頭つかうんですね。(^◇^)」



《この日の献立》

長芋のかき揚げ
野菜とツナの煮物
胡瓜とカブの浅漬
豆腐とわかめの味噌汁
大根葉のごはん
ミックスフルーツ

《この日の献立》

豆腐ハンバーグ
ほうれんそうのじゃこ乗っけ
大根の甘酢づけ
具だくさん味噌汁
ごはん
フルーツ（メロン）



【報告】フレンドシップあさひの隣スペース（倉庫部分）を新たに借り入れることができました。これにより設備や利用定員の拡張を行う予定です。とても親切な家主さんが与えられて感謝します。もし、リフォームをお考えの方は、家主のミヤビ工建さん（045-959-5033）に、是非問い合わせてください。（床暖房は最高です！！）



開設式にてスタッフと共に

フレンドシップあさひ が大切にしたいと願っていること

心

利用者の方々一人一人を尊敬し、人生の先輩としてお迎えすること。そのためにも、第一目標は職員の明るさと一致です。

生きること

私たちは小さなデイサービスです。大きな事業所に設備では到底太刀打ちできません。しかし、小さいところだからこそできる、素敵なことが沢山あります。それは、多少身体が不自由であっても一人一人が主体的に自分の一日を選び取る権利があり、それを大切にお手伝いすることです。

フレンドシップとして

英語のフレンド(友)の語源は、フリー(自由)という意味から出ています。つまり、友人であるということは互いに自由であり、相手に拘束されない関係を意味します。利用者と職員と地域の方々が、「してもらう」「してあげる」という上下関係ではなく、身体が不自由であるとか無いとかにかかわらず、一人一人が自由な尊厳ある人として生きる居場所を見出す権利があります。

そのことは簡単にはできませんが、限りなく目指して行きたいと願っています。

介護スタッフ（山本）

フレンドシップあさひ介護職員の山本高仁です。フレンドシップあさひが営業を始めてから、早いものでもう半年が経とうとしています。当初は1日に1～2人しか来なかった利用者が、今では毎日5人以上、多い時は10人近くも来てくださるようになりました。私はフレンドシップあさひがすごい速度で大きくなっていく様子を間近で見えてきましたが、それはまさに驚きと喜びの連続でした。良いサービスが提供できなかったのではと皆で肩を落としたことが何度もありましたが、それでもフレンドシップあさひを利用したいと言ってくれる方がなんと多いことでしょうか。フレンドシップあさひでは小規模ゆえに利用者一人一人と密にかかわることができます。また、それがフレンドシップあさひの特色であり長所でもあります。少しでも利用者の側に立ってという私たちの姿勢が、利用者だけでなくそのご家族にも受け入れられているのだと、私は信じています。

フレンドシップあさひ一同、これからも利用者一人一人の側に立って共に歩んで行くようなサービスが提供できるように努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

介護スタッフ（西条）

フレンドシップあさひに来られた方は、とてもよくおしゃべりをされます。スタッフも一緒におしゃべりしながらお話を伺います。おしゃべりするうち、いろいろな事を思い出して笑ったり、時には涙を流したり…。いろいろな話が出てきて皆さんの表情が生き生きしてきます。利用者の方は独居だったり、家族が居られても孤独を感じていたりして、普段話せないけれど話したい事をたくさんかかえておられます。だからしっかり耳と心でお話を伺って、もっともっとお話を引き出したいと思っています。利用者お一人お一人とゆっくりお話をするなんて当たり前で簡単な事のようにですが、大きなデイサービスではなかなかできないのが実情です。「おしゃべり」は小さいデイサービスだからこそできる素敵なことの一つかなと思います。